

感染症発生動向調査により届け出られた 茨城県における梅毒の概要（2025年第3四半期）

茨城県感染症情報センター

感染症発生動向調査により届出られた茨城県内における梅毒症例の動向について、四半期ごとに情報をまとめ還元いたします。

第1四半期：第1週～13週（2024年12月30日～2025年3月30日）

第2四半期：第14週～26週（2025年3月31日～6月29日）

第3四半期：第27週～39週（2025年6月30日～9月28日）

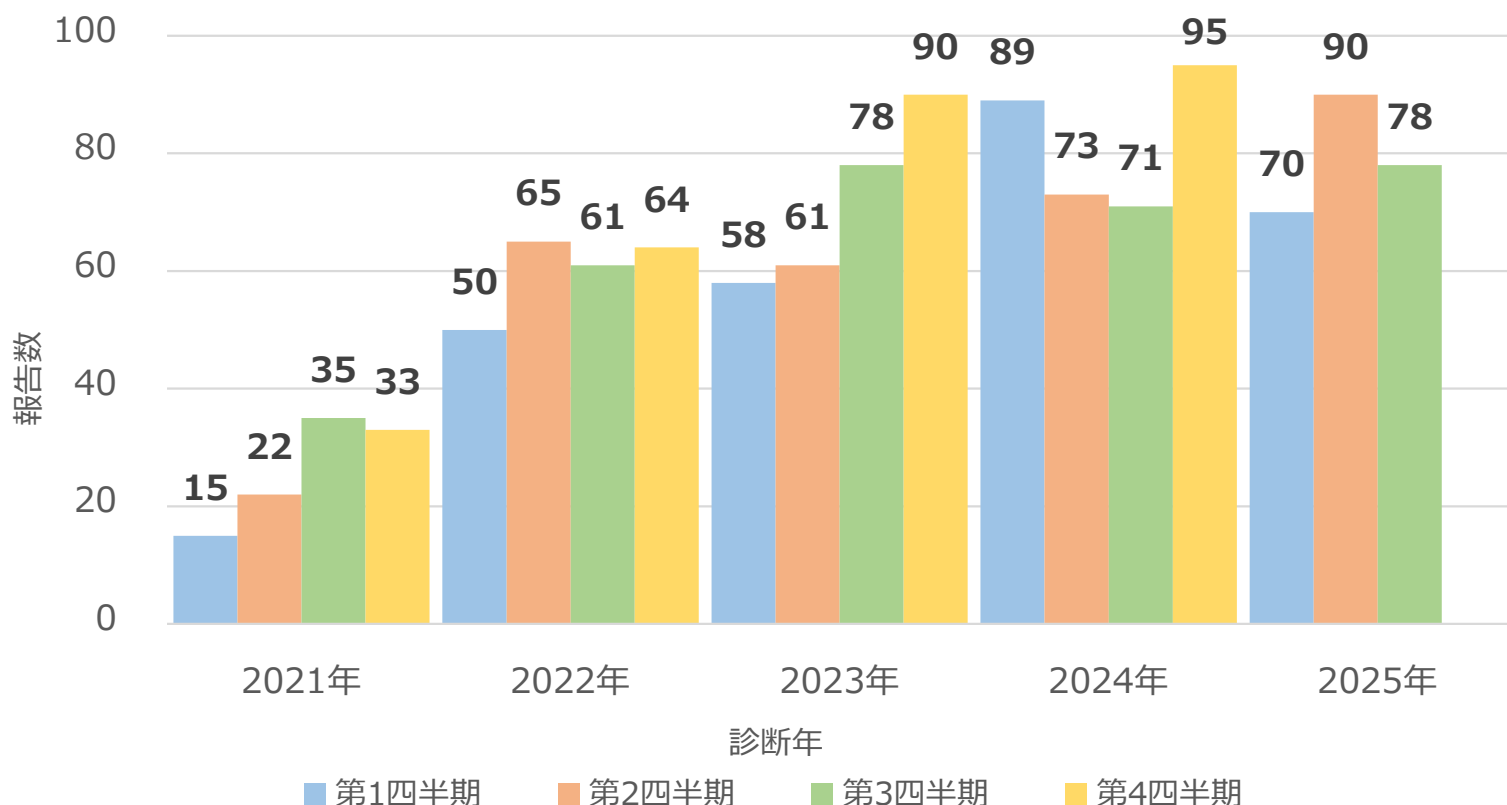
第4四半期：第40週～52週（2025年9月29日～12月28日）

※ 2025年11月10日までに届出のあった報告数のため、遅れ報告は含まず

四半期別 梅毒報告数

- 2025年第3四半期の梅毒報告数は78例、累積報告数は238例と、年間報告数が過去最多となった**2024年同時期よりも多い報告数**となっている

茨城県内における四半期別 梅毒報告数（2021年～2025年第39週時点）



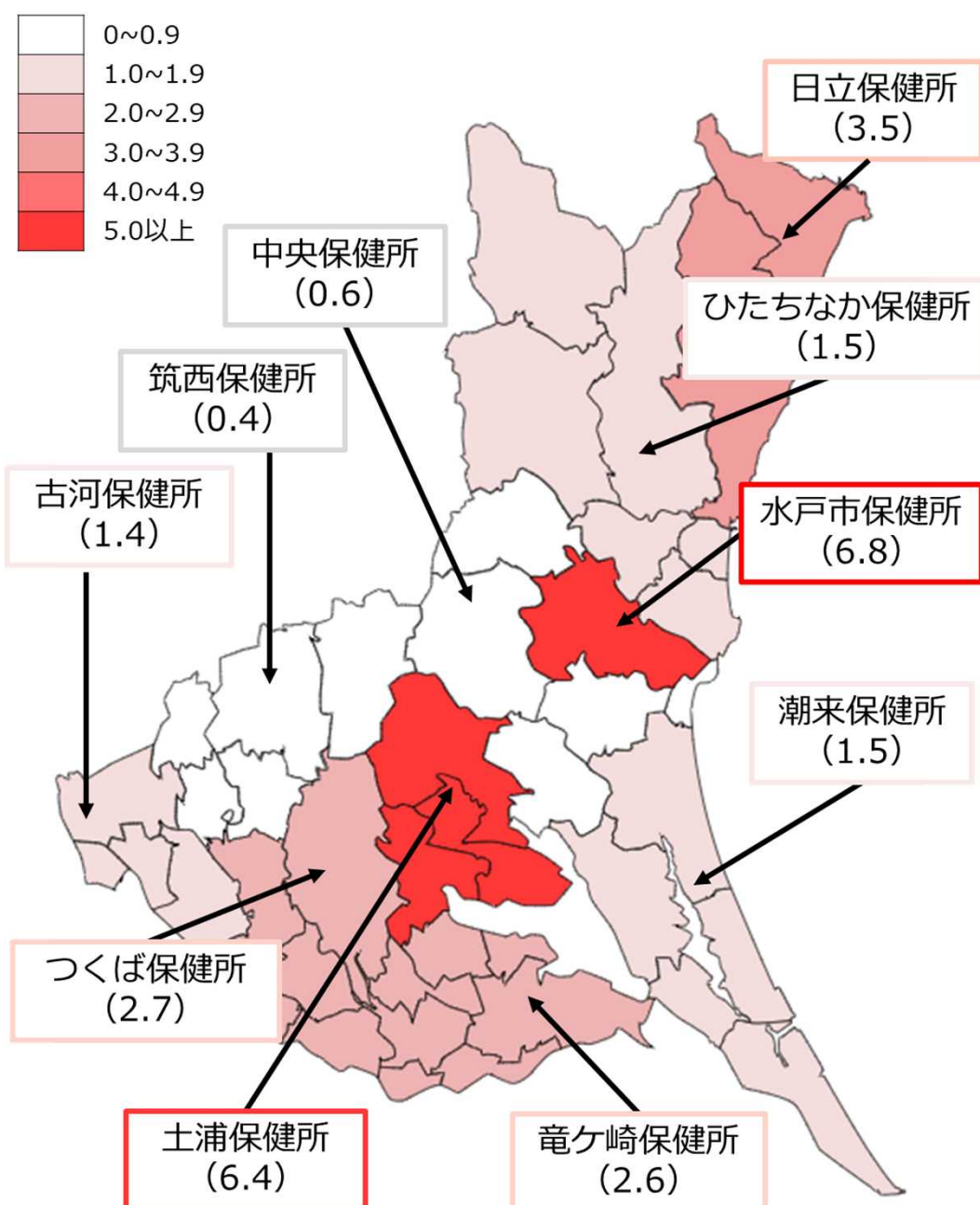
管轄保健所別 梅毒報告状況

- 管轄保健所別の梅毒報告数は、水戸市保健所が18例と最も多く、土浦保健所、竜ヶ崎保健所の順に多かった
- 人口10万人当たり報告数は、水戸市保健所が6.8と最も高く、土浦保健所（6.4）、日立保健所（3.5）の順に高かった

茨城県内における管轄保健所別 梅毒報告数（2025年第3四半期6/30～9/28）

	中央	ひたちなか	日立	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	古河	水戸市	計
男	1	5	7	3	10	13	8	1	2	12	62
女	0	0	1	1	2	3	2	0	1	6	16
計	1	5	8	4	12	16	10	1	3	18	78

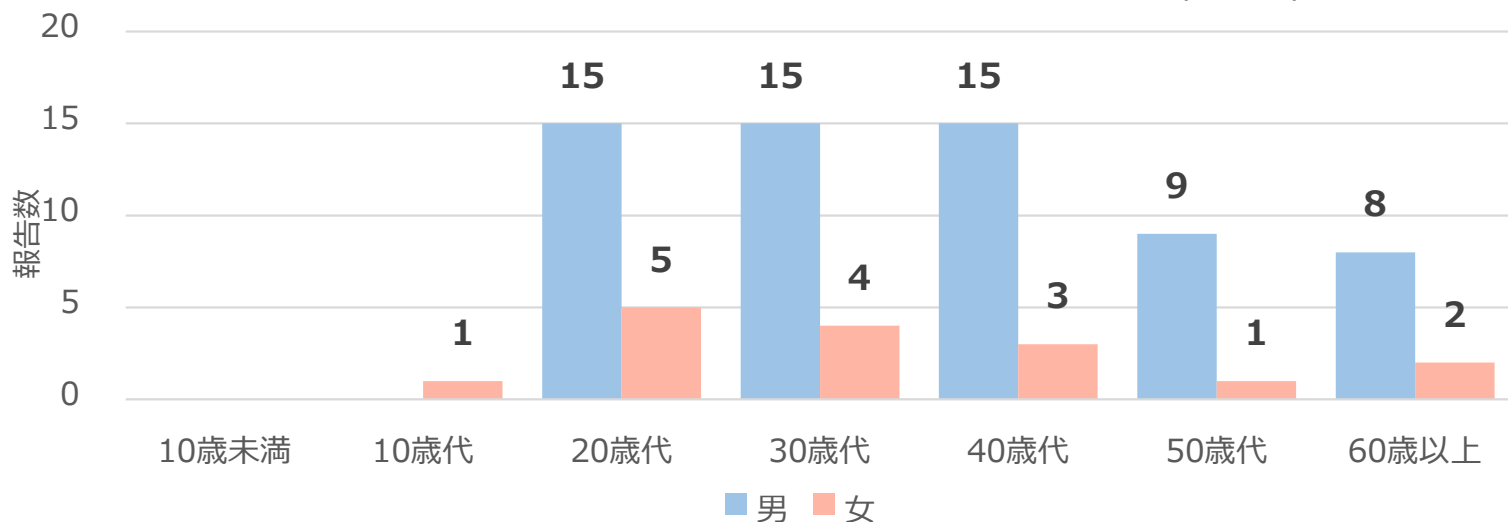
管轄保健所別 人口10万人当たり報告数（2025年第3四半期:6/30～9/28）



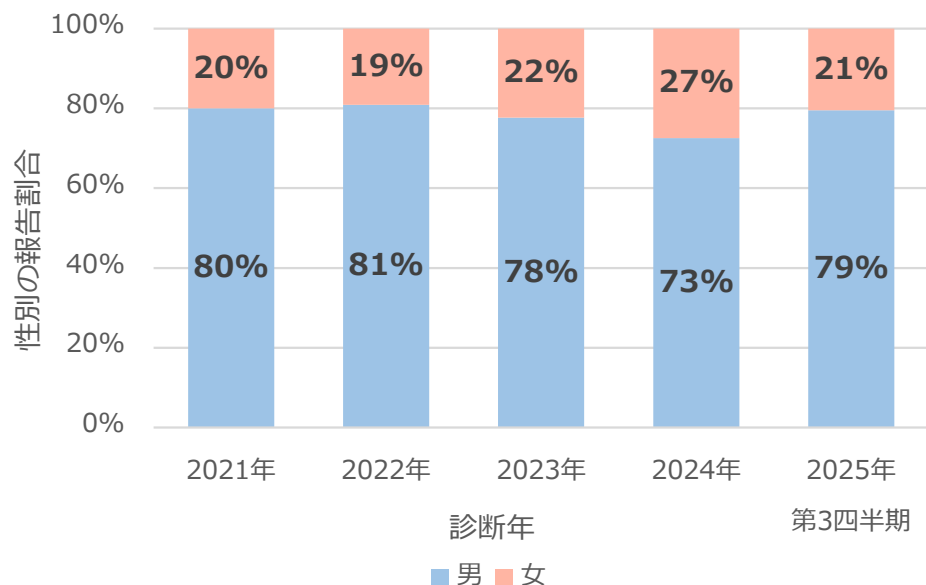
性別・年代別 梅毒報告状況

- 2025年第3四半期に報告のあった梅毒症例は、男性が80%、女性が20%と男性に多かった
- 梅毒症例の年代は、20～40歳代に多く、全体の73%を占めた

茨城県内における性別・年代別 梅毒報告数（2025年第3四半期:6/30～9/28）



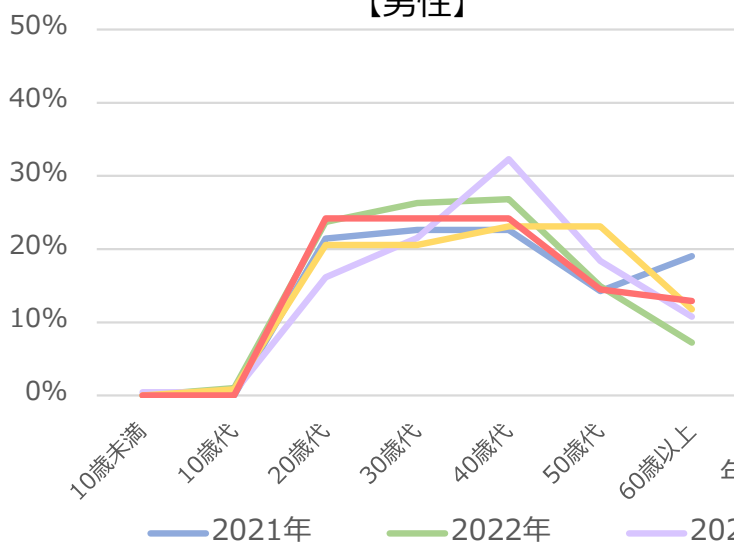
性別 梅毒報告割合（2021年～2025年）



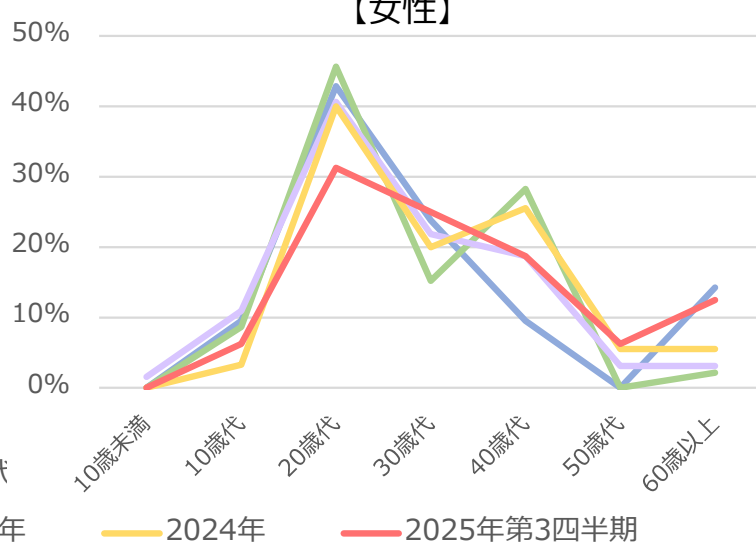
- 性別の梅毒報告割合は、男性が約80%とおおむね横ばいであった
- 2025年第3四半期に報告のあった女性梅毒症例は、過去4年間と比較すると、20歳代の割合が最も低かった

年代別 梅毒報告割合（2021年～2025年）

【男性】



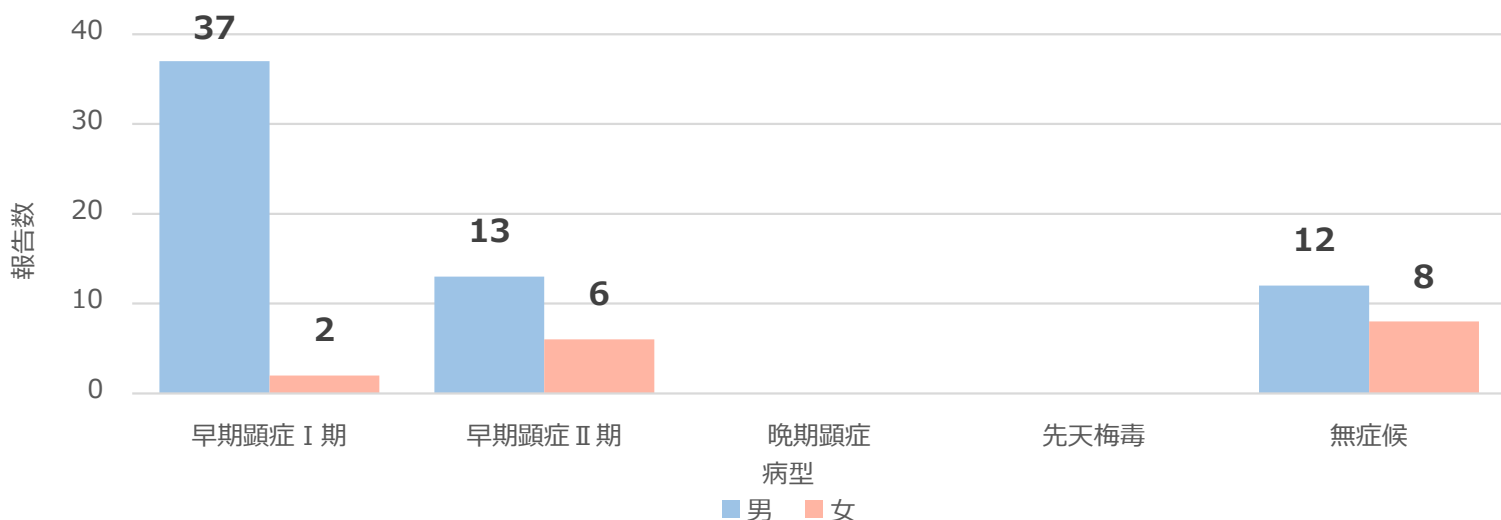
【女性】



病型別 梅毒報告状況

- 2025年第3四半期に報告のあった梅毒症例の病型は、男性は早期顕症Ⅰ期、女性は無症候が多かった

茨城県内における性別・病型別 梅毒報告数（2025年第3四半期:6/30~9/28）



【男性】病型別 梅毒報告数（2025年第3四半期:6/30~9/28）

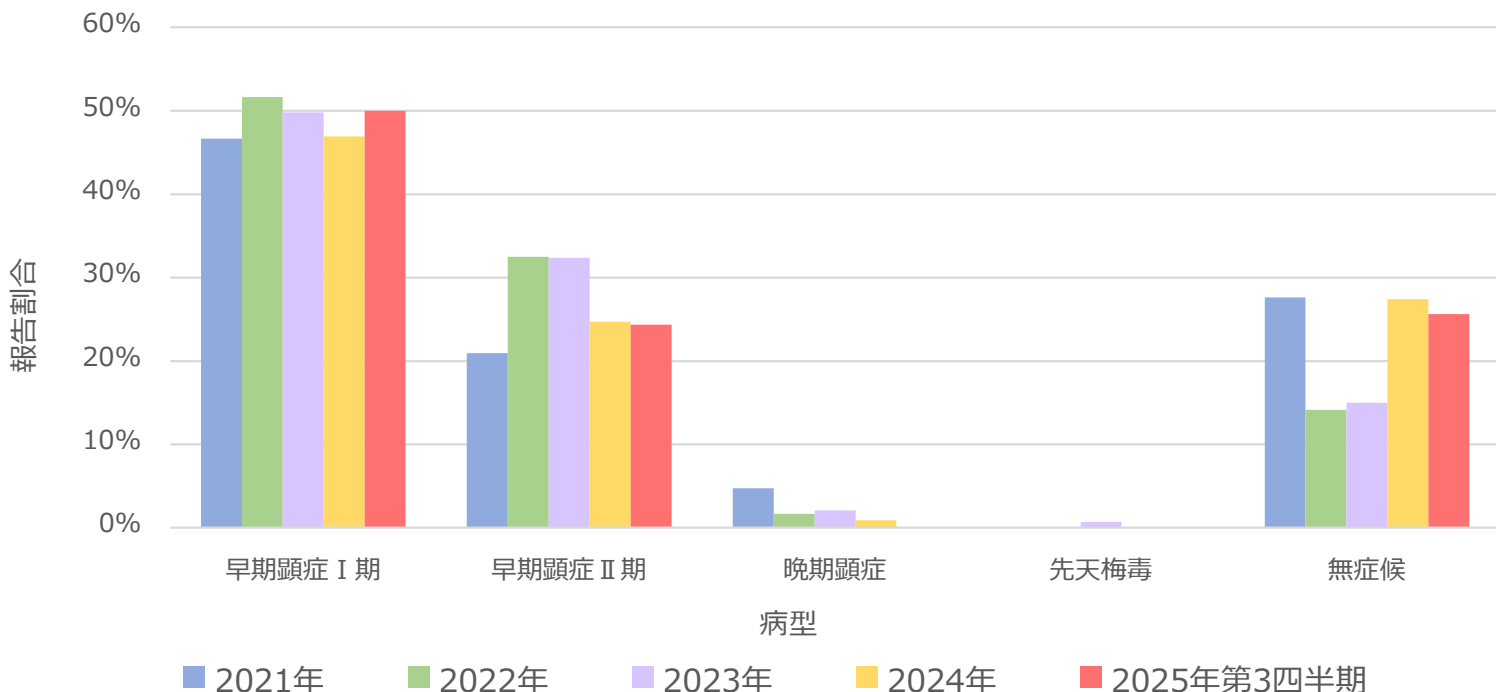
早期顕症Ⅰ期	早期顕症Ⅱ期	晩期顕症	先天梅毒	無症候	計
37(59.7%)	13(21.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	12(19.4%)	62

【女性】病型別 梅毒報告数（2025年第3四半期:6/30~9/28）

早期顕症Ⅰ期	早期顕症Ⅱ期	晩期顕症	先天梅毒	無症候	計
2(12.5%)	6(37.5%)	0(0.0%)	0(0.0%)	8(50.0%)	16

- 2025年第3四半期に報告のあった症例の病型別割合は前年と同様の傾向であり、早期顕症Ⅰ期・無症候・早期顕症Ⅱ期の順に高かった

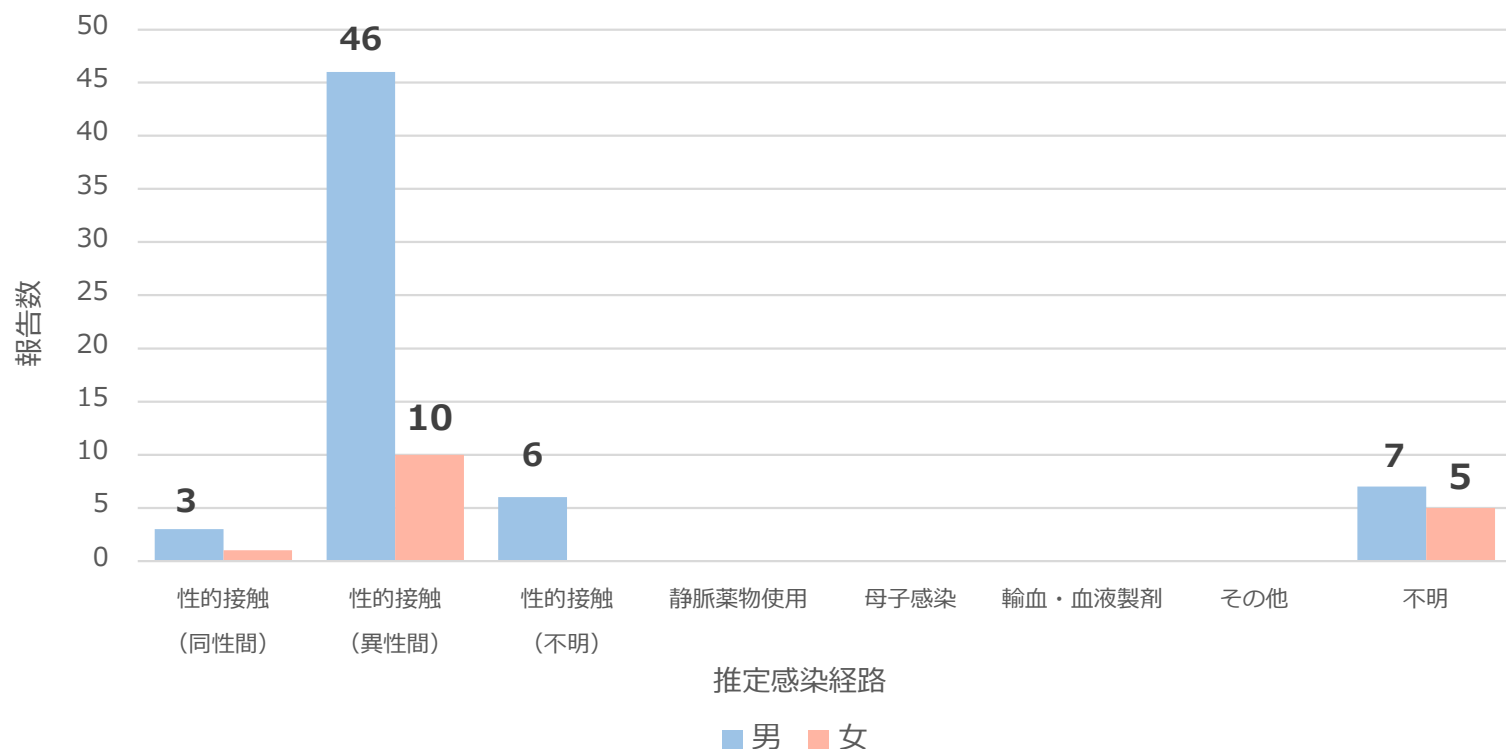
病型別 梅毒報告割合（2021年～2025年）



感染経路別 梅毒報告状況

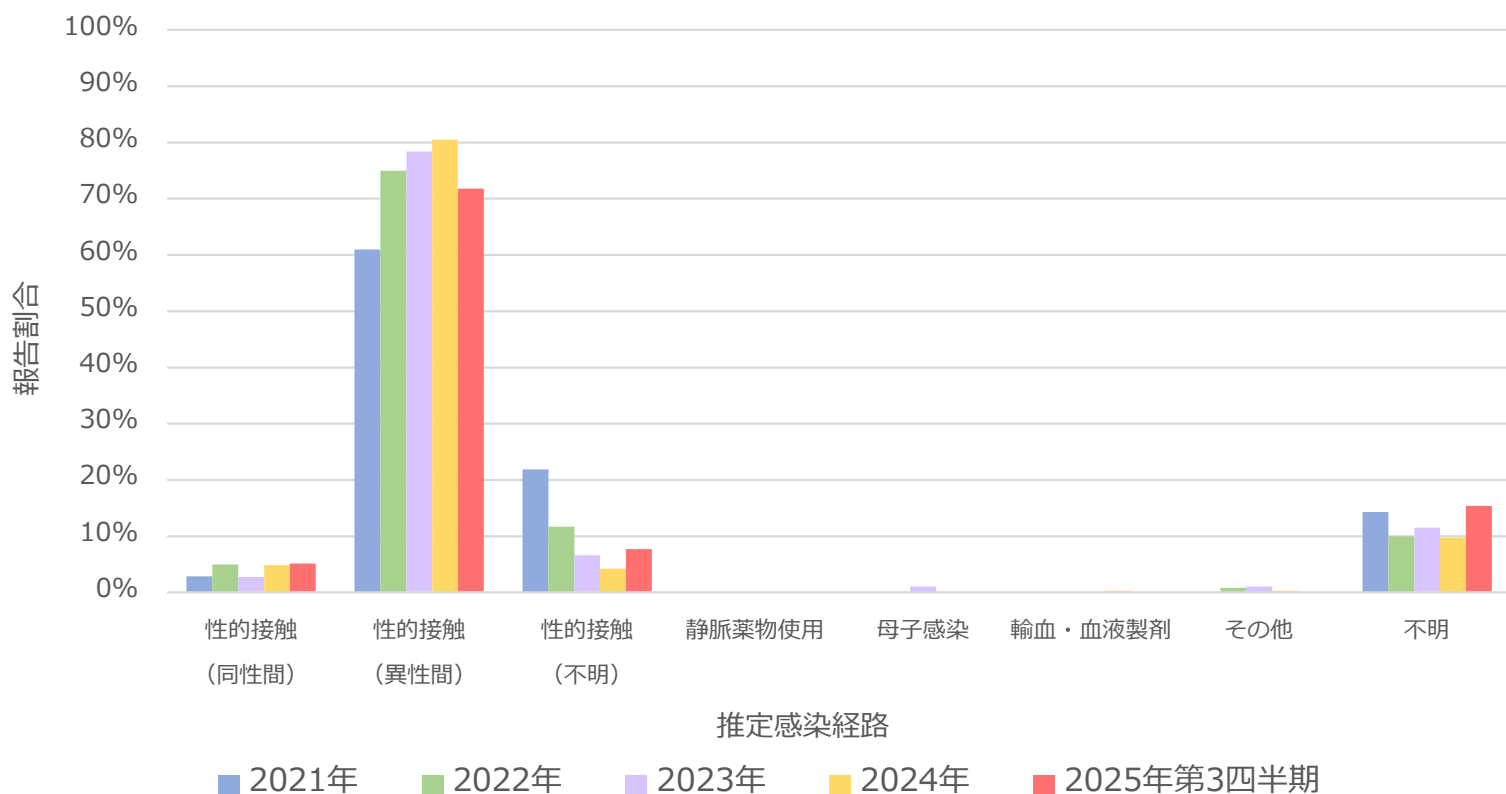
- 2025年第3四半期に報告のあった梅毒症例の感染経路は、男女ともに「異性間の性的接触」が最も多く、男性のうち5%（3例）は「同性間の性的接触」であった

茨城県内における感染経路別 梅毒報告数（2025年第3四半期:6/30~9/28）



- 感染経路別報告割合は、いずれの年も「異性間の性的接触」が最も高かった

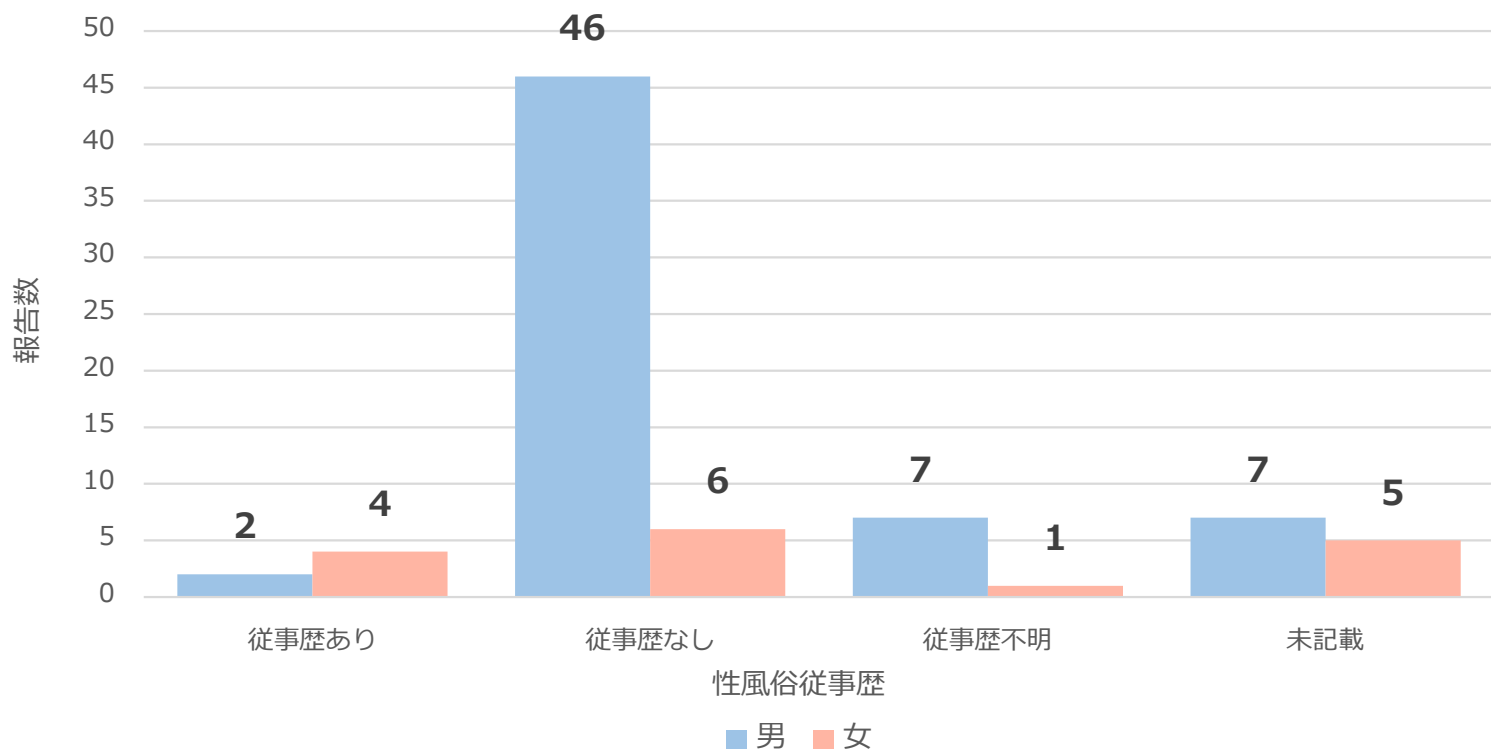
感染経路別 梅毒報告割合（2021年～2025年）



性風俗産業従事歴別 梅毒報告状況

- 2025年第3四半期に報告のあった梅毒症例のうち、性風俗産業従事歴ありの男性は2例（3%）、女性は4例（25%）であった

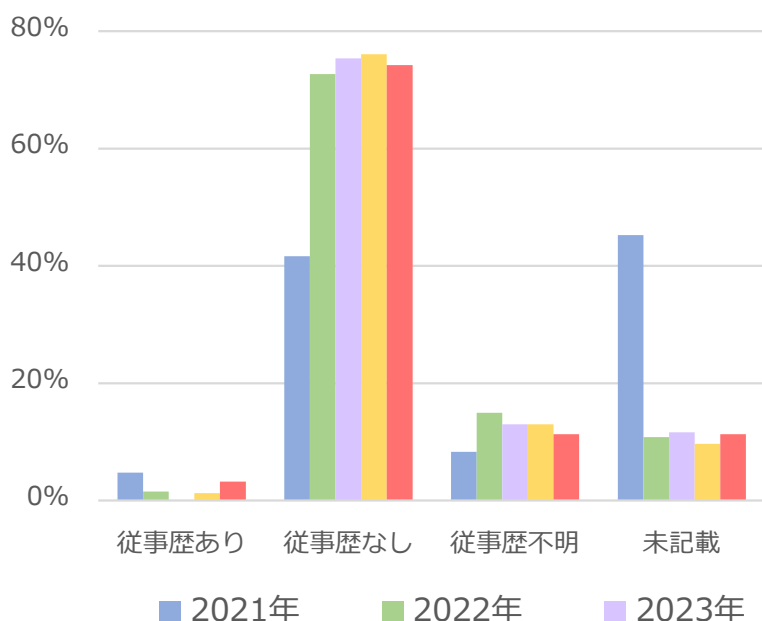
茨城県内における性風俗従事歴別 梅毒報告数（2025年第3四半期:6/30~9/28）



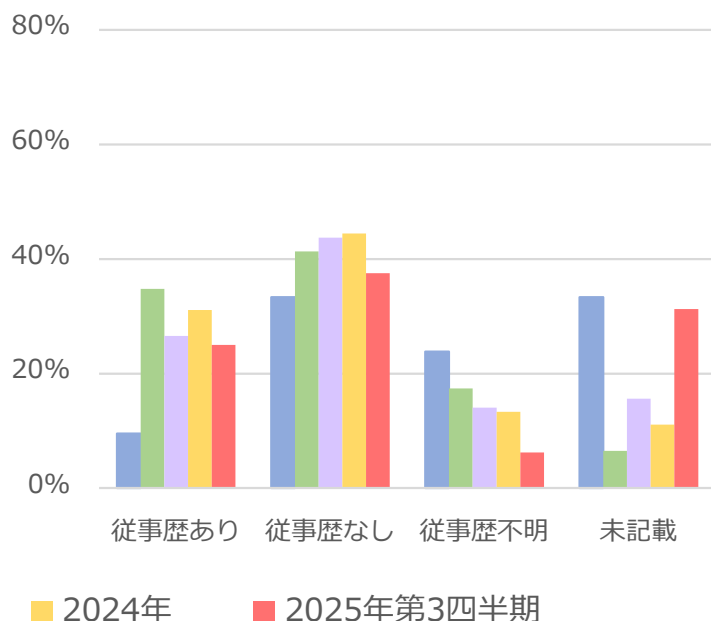
- 性風俗産業従事歴ありの割合は、いずれの年も女性のほうが高かった
- 2025年第3四半期に報告のあった症例の性風俗従事歴はおおむね例年どおりの傾向であったが、女性症例の「未記載」の割合が高かった

性風俗産業従事歴別 梅毒報告割合（2021年～2025年）

【男性】



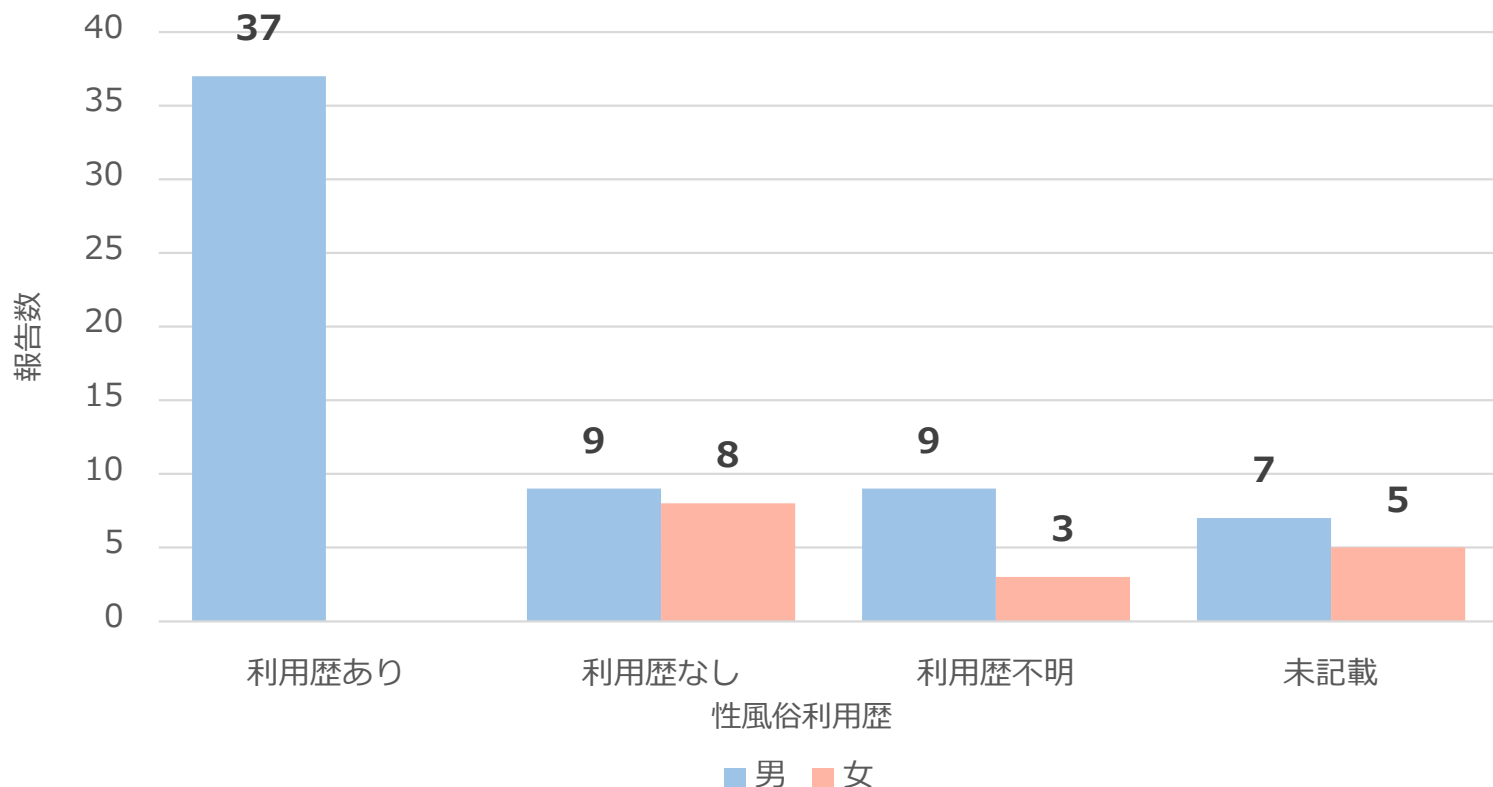
【女性】



性風俗産業利用歴別 梅毒報告状況

- 2025年第3四半期に報告のあった梅毒症例のうち、性風俗産業利用歴ありの男性は37例（60%）、女性は0例と男性に多かった

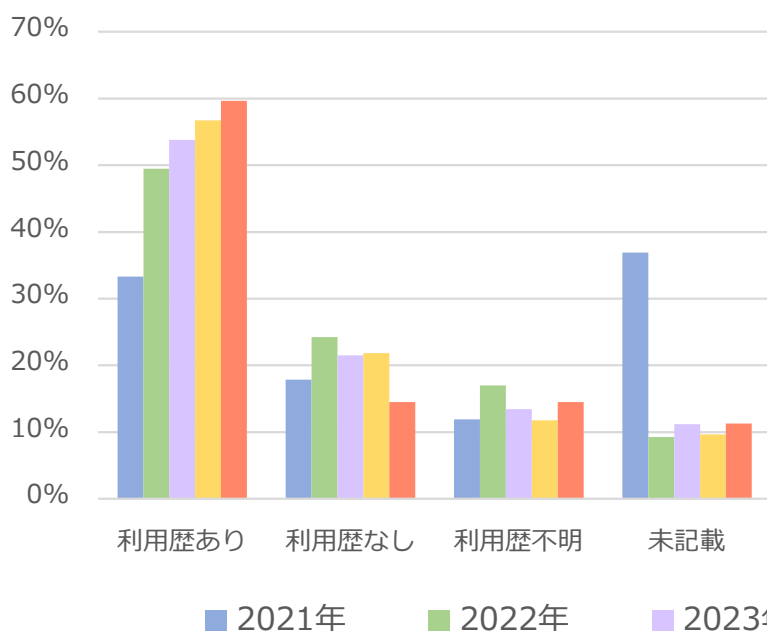
茨城県内における性風俗利用歴別 梅毒報告数（2025年第3四半期:6/30~9/28）



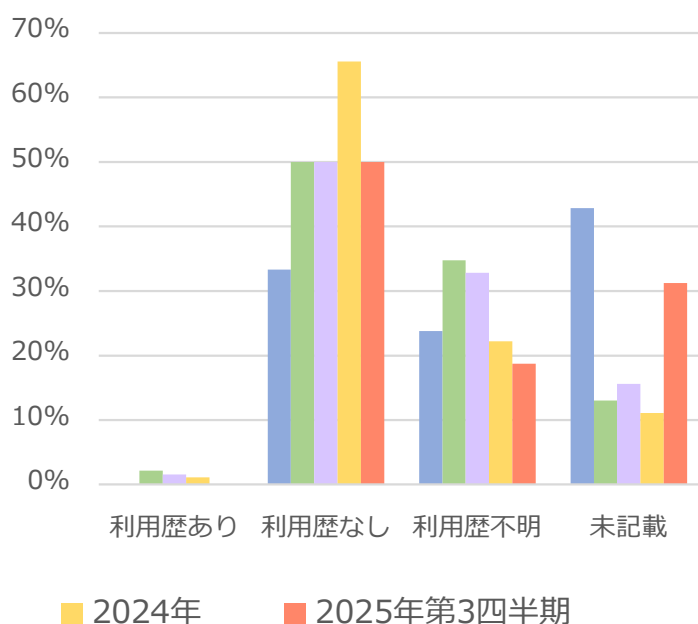
- 性風俗産業利用歴ありの割合は、いずれの年も男性のほうが高く、男性症例の性風俗利用歴ありの割合は年々増加している

性風俗産業利用歴別 梅毒報告割合（2021年～2025年）

【男性】



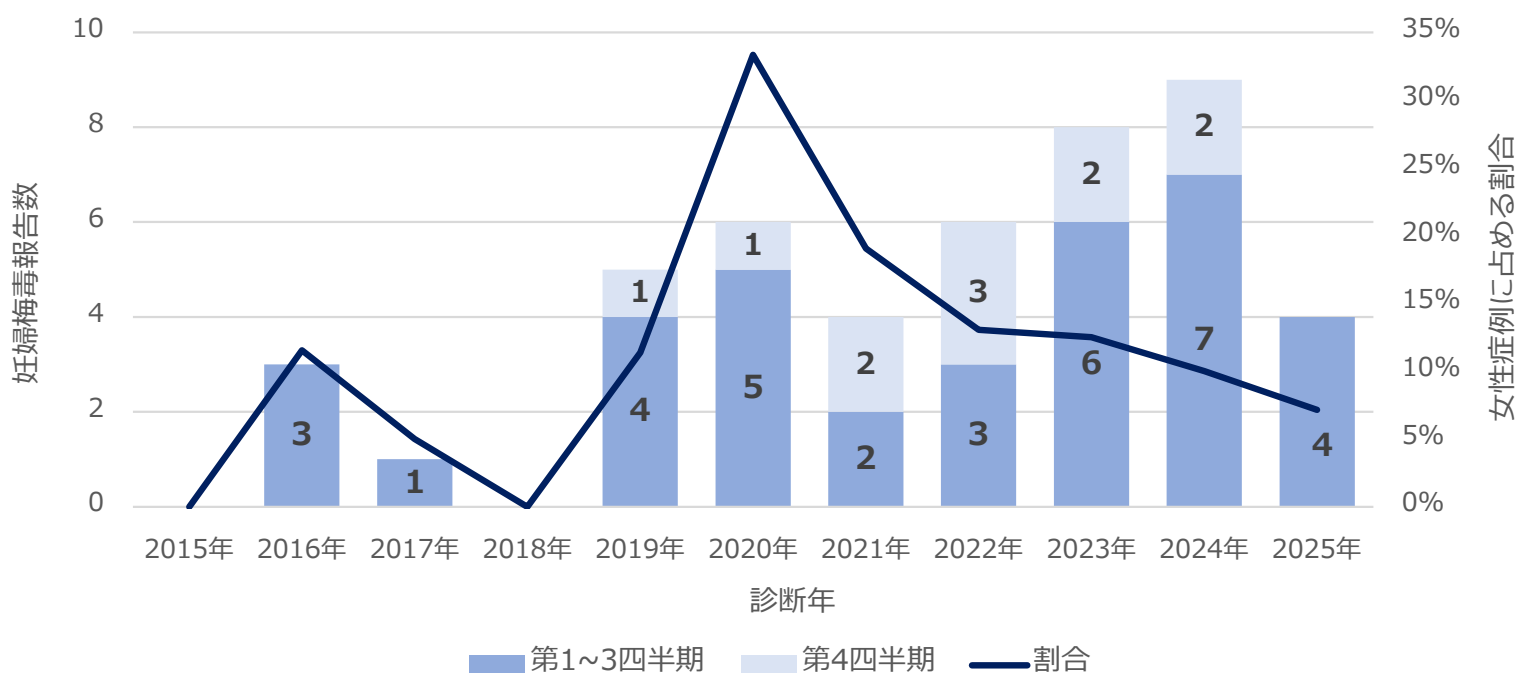
【女性】



妊婦梅毒

- 茨城県内における妊婦梅毒報告数は、2021年以降増加傾向にあったが、2025年第3四半期（12/30～9/28）までの妊婦梅毒報告数は4例と、昨年同時期より少なかった
- 女性症例に占める妊婦梅毒症例の割合は、2020年以降、減少傾向となっている

茨城県内における妊婦梅毒報告数（2015年～2025年第3四半期（～9/28））



- ・ 2015年～2023年3月10日までは、感染症発生動向調査システムに登録された梅毒症例のうち「疾病共通備考欄」または「その他事項」の欄に「妊娠」の記載が含まれるものを抽出
- ・ 2023年3月11日以降は、感染症発生動向調査システムに「妊娠の有無（女性のみ）」の欄が追加となったため、当該欄より抽出

先天梅毒

茨城県内における先天梅毒報告数（2015年～2025年第3四半期（～9/28））

